



医療法人みらい

クリニック年報
(2024年度)





理事長挨拶

横浜市立大学医学臨床教授
みなと赤十字病院臨床研修管理委員
横浜市医師会員

医療法人 みらい

理事長 沖田 将人
(おきた まさと)

我々は在宅医療専門のクリニックを開業して、法人化などを経て、今年で19年目を無事に迎えることができました。この間、患者様を診る中で、病院、訪問看護、ケアマネジャーや薬局など様々な方にお力をいただき歩んでくることができたと思います。心より感謝申し上げます。

私、沖田と在宅医療との出会いは31歳の時に心臓外科医としての道を諦め、港南区にある古い有床診療所の雇われ院長をしたときでした。外来患者さんが1日に10人ぐらいしか来ない診療所でこれは経営の立て直しに来たのにまずい！と思い、来院名簿を見ると自分が診察した人の数よりも多くの患者様の名前が書かれている。受付に話を聞くと通院ができない患者様の薬を代理で取りに来ています。「それは無診療処方になりかねないからダメですよ。どうせ、暇な外来ですから、午後はそういう患者様の往診に行って差し上げましょう」ということで往診をはじめると地域のコミュニティーで〇〇診療所は往診をはじめた、という噂が広まり、当初5人ぐらいだった往診患者様も数か月後には50人以上になりました。まだ、在宅医療というシステムがあまりできていない時期でしたが、それでも経営は黒字に転換しました。これからの地域医療のニーズは診療所で待っているのではなく、こちらが出向くことだ、これで生きていこう、と思ったのが私と在宅医療との出会いでした。

その診療所を退職して、最初に旭区の高齢者施設の1室を借りて、横浜市でまだ数件しかなかった在宅医療専門の診療所を開業し、施設の患者様をみながらその地域の在宅医療を1人で始めました。当初から24時間対応で自宅で最期まで診る在宅医療を行う、すぐ往く、診る、話す丁寧な在宅医療を掲げていたので、当初は在宅患者様60人程度でしたが、末期癌の患者様も常に10人以上はいる状態で、昼間10件程度の訪問診療を行い、夜間、深夜も2、3件は必ず呼ばれ、翌日もまた10件の訪問診療、その晩もまた呼ばれるという毎日。同様に地域に数件しかなかった訪問看護ステーションも必ずと言っていいほど夜間、深夜は同じ方が対応されていて、お互い慰め合う、たたえ合うという毎日でした。いまでもその方たちと会うと、苦労を共にした過去でつながっていると感じます。

ただ、3年ぐらい24時間365日寝不足、休みなし、横浜を出たことがないという自分の生活を振り返り、「まずい、自分が倒れてしまうかも。」と思い、在宅医療を続けるには医師を集めないと続けられないと思い、なんとか医師を集め、旭区で最初に開業してから19年経過し、2025年4月現在常勤医師41人、非常勤医師40人、法人全体では日本で一番の在宅看取り数を行うクリニックにまで成長することができました。

これも、院内のスタッフだけではなく、周囲の医療関係者、介護関係者、病院などの方からの支援、協力をいただき、患者様第一に”すぐ往く、診る、話す、丁寧な在宅医療“を提供させていただけたからだと思います。

スタッフが増え足並みをそろえていくことに苦労は感じておりますが、頼れる開田副理事長も就任し、今後もこの理念で横浜の在宅医療を支えていけたらと思いますので、よろしくお願い申し上げます。



副理事長挨拶

横浜市立大学医学部 臨床准教授
日本在宅医療連合学会 在宅医療認定専門医
日本在宅医療連合学会専門委員会(将来構想)委員
公益財団法人神奈川県医師会
在宅医療トレーニングセンター研修事業アドバイザー
神奈川県立保健福祉大学 非常勤講師
日本バラスポーツ協会公認 障がい者スポーツ医

医療法人 みらい

副理事長 開田 脩平
(かいだ しゅうへい)

2024年は元旦に令和6年能登半島地震が発生しました。まずはこの度の地震被害を被られた方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復、ご復興を祈念致します。当法人としても後方支援として1月に福井県勝山市の勝山オレンジクリニックの診療支援、3月には輪島市の福祉避難所に2名の医師がボランティアとして避難所のサポートに入りました。この震災をきっかけに当法人としても改めて災害対策について考え直すとともに、震災などが起きた際には地域での助け合い、支え合いが重要であることを再認識しました。

高齢化、核家族化が進む中で、在宅医療がより求められる時代になりました。一方で独居や老々介護、支える家族も障がいを抱える、経済面での困窮など社会が抱える課題は複雑化しています。在宅医としてただ医療行為を行うだけではなく、様々な職種と連携し、お互いが協力し合うことで課題解決につながることを日々感じております。

また高齢者だけではなく、医療的ケア児あるいは医療的ケア児の成人移行に関しては当法人としてもまだまだ勉強不足なところはありますが、病院の小児科医師の指導を仰ぎ、地域との様々な職種との連携を深めながら、少しずつ取り組んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、日頃より連携してくださっている病院関係者、訪問看護師、ケアマネジャーや薬剤師などの様々な方々には心より感謝申し上げます。医師の在籍人数が増えても、その質を落とすことなく、より地域の様々なニーズにこたえられるように精進していきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



医師紹介

常勤医師：41名

非常勤医師：40名（令和7年4月現在）



秋葉 涼子
 (あきば りょうこ)
 H24.4～
【専門】
 総合内科
 総合診療科
【資格】
 日本内科学会総合内科専門医
 日本内科学会認定内科医
 日本プライマリ・ケア
 連合学会認定プライマリ・ケア認定医

訪問診療を受けられる患者様がご自宅で安心してお過ごしになれるように、安定した医療の提供に努めてまいります。
 様々なご病状について、幅広くご相談をいただければ幸いです。



佐藤 順子
 (さとう じゅんこ)
 H25.10～
【専門】
 一般内科
 総合診療
 家庭医療
【資格】
 日本内科学会認定総合内科専門医
 日本プライマリ・ケア
 連合学会認定家庭医療専門医
 介護支援専門員

私自身の主たる役割は、
 ①一般家庭や施設（グループホームやサ高住）への訪問診療
 ②特別養護老人ホームでの施設医
 ③横浜市大の地域医療学実習学生の同行です。
 ②については特養の配置医師制度と実際の入居者の介護度・医療依存度のギャップに日々葛藤しており、特に医療機関の皆様にはご迷惑をおかけしていると思います。家族志向のケア・メンタルヘルスケアに興味があり、細々と勉強を続けております。複雑・困難事例であってもどうぞお気軽にご相談ください。



佐藤 将之
 (さとう まさゆき)
 H26.4～
【専門】
 一般内科
 呼吸器内科
 緩和ケア科
【資格】
 日本緩和医療学会緩和ケア指導者研修修了
 日本内科学会総合内科専門医
 日本呼吸器学会呼吸器内科専門医
 日本内科学会認定内科医

2014年よりみらい在宅クリニックで勤務している佐藤将之です。「病院を退院して自宅で過ごしたい」と願う患者様が望んだ時に自宅でその人らしく過ごせる医療を提供したいと思い、総合内科勤務後にホスピスや病院付属の在宅医療部で症状緩和や家族サポート等の経験を積みました。患者様のより良い在宅療養のために皆様と密な連携をとらせて頂きたいと思っておりますので、些細なことでも遠慮なくご連絡を頂けますと幸いです。20年以上の臨床経験を生かして患者様に寄り添った医療の提供に努めますので今後ともご指導をよろしくお願いたします。



林 茂也
 (はやし しげや)
 H28.4～
【専門】
 一般内科
 消化器科
 外科
【資格】

在宅医療に関わるようになってから、早10年が経過し、2024年4月からは神奈川院の院長に就任させていただきました。元々、一般外科を専門として横浜市立大学附属市民総合医療センターや神奈川県立がんセンターで消化器を中心に勉強させて頂いた後に、緩和医療に興味を持ち、在宅医療に関わらせて頂きました。在宅医療では医療知識はもちろんですが、コメディカルとの連携が非常に重要と考えております。引き続き、皆様と交流を図ればと思いますので、よろしくお願致します。



中村 洋祐
 (なかむら ようすけ)
 H28.6～
【専門】
 血液内科
【資格】
 日本血液内科学会認定血液専門医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

2007年浜松医科大学卒で専門科は血液内科となります。非常勤を含めるとみらい在宅クリニックに勤めて13年目となります。病院の地域連携から訪問看護やケアマネージャー、薬局など地域の方々とも密に連携を取らせていただくよう努めており、時には直接お電話させていただくこともあるかと思っておりますので、よろしくお願いたします。
 大学時代はサッカー部に所属し、現在は院内のサークル活動としてフットサル部の部長も務めております。院外でも訪問看護や薬局の方などにもご参加いただいております。ご興味のある方は、ぜひ中村までご連絡ください。



岩淵 潔
 (いわぶち きよし)
 H29.4～
【専門】
 神経内科
【資格】

私は若いころから脊髄小脳変性症について研究してきたこともあり、20余年前から神経難病患者様の在宅医療をしてきました。
 しかし、私自身が高齢となった今、長年関わってきた患者様が残された時間をご自宅で穏やかに過ごせるように微力を尽くしております。



橋本 昌憲
 (はしもと まさのり)
 H30.4～
【専門】
 一般内科
 消化器科
 外科
【資格】

私は2014年4月より非常勤の医師として当院に勤め御縁があって2018年より常勤医として診療しております。これまでは県立がんセンターやその他拠点病院で外科医として胸腹部の診療経験を積んできました。
 私が訪問診療を初めて経験したのは研修医時代の福島県喜多方市での地域医療でした。各診療科に常勤医師は1名ずつの地域の中核病院で、私が同行させていただいた医師は外科医として手術、外来、検査そして訪問診療を非常勤医師1人と合計2名で地域医療を支えていました。その当時私が感じた「患者様に寄り添う診療」が今日の私の診療の土台になっていると思います。今後とも何卒宜しくお願致します。



原田 浩
 (はらだ ひろし)
 H30.4～
【専門】
 消化器外科
 緩和ケア
【資格】
 日本外科学会認定医

皆さんこんにちは。平成9年に横浜市大を卒業、横浜市大第一外科で消化器領域を主として呼吸器、乳腺甲状腺疾患など多岐にわたる外科治療に20年間従事したのち平成30年から当院に勤務しております。
 外科時代は赴任した病院で常に緩和ケアチームに属して常に緩和ケアを意識した治療、ケアを心がけてきました。その知識、経験が今訪問診療で生かしていると思っております。お酒が好きなので機会があればぜひ飲みに行きましょう。



瀬間 学
 (せま まなぶ)
 H31.4～
【専門】
 一般内科
 呼吸器科
【資格】
 日本がん治療認定医
 日本内科学会総合内科専門医
 日本呼吸器学会専門医
 日本アレルギー学会専門医
 医学博士

都内の大学病院勤務後、2019年度よりみらい在宅クリニックの常勤医として横浜の在宅医療に従事させていただいております。患者様の身体的状態を診ることだけでなく、一人一人の気持ちに寄り添うことを心がけ、御本人・御家族が安心して穏やかな時間を過ごしていただけるように努めていきたいと思っております。これまでも地域医療介護に携わる皆様から多くのご助力いただきありがとうございました。今後も皆様と一緒に、患者様を中心とした在宅医療に携わらせていただければと思います。何卒よろしくお願いたします。



鵜浦 康司
 (うのうら こうじ)
 H31.4～
【専門】
 一般内科
 呼吸器科
【資格】
 日本内科学会総合内科専門医
 日本呼吸器学会専門医指導医
 日本アレルギー学会専門医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 ICD 制度協議会認定 ICD

医療・介護の分野も日々刻々と変化しており、毎日が学びと感じております。時代の変化に遅れることなく、患者様やその周辺の方々から少しでも笑顔でいられるように心がけて診療にあたっております。これからのそのような気持ちを忘れることなく、自分らしく取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願致します。



永田 亮
 (ながた りょう)
 R1.10～
【専門】
 緩和ケア
 一般内科
 婦人科
【資格】
 日本緩和医療学会緩和医療認定医
 日本産婦人科学会産婦人科専門医

2024年10月より金沢分院の管理者となりました永田と申します。私は鎌倉出身で、大学卒業後に横浜市立大学の産婦人科教室に在籍しておりました。
 2019年に在宅緩和医療に従事したく、当院に入職しています。私の専門は産婦人科ですが、大学在籍中に緩和医療を勉強し、大学病院での緩和ケアチームや緩和ケア病棟で勤務もしておりました。その中で、在宅緩和ケアを専門にいたしたく、現在に至っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願致します。



医師紹介



椎野 王久
(しいの きみひさ)
R1.10～
【専門】
一般内科
呼吸器外科
外科
【資格】
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本外科学会認定登録医
日本緩和医療学会緩和ケア研修会研修終了

皆様にはいつも大変お世話になり心より御礼を申し上げます。私がみらい在宅クリニックで在宅医療の皆様のサポートを始めて今年で6年目となります。これまで横浜市立大学附属市民総合医療センターをはじめ横浜市内の病院で主に呼吸器外科を専門として勤務して参りました。その経験を生かし、これからは在宅で療養されている患者様を全力でサポートしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



佐藤 晶子
(さとう あきこ)
R2.6～
【専門】
一般内科
緩和ケア
【資格】
日本医師会認定産業医

「自宅で過ごしたい」そんな患者様の思いをお手伝いいたくて、在宅診療を始めました。患者様ご自身の思いをお伝えしやすいよう、「話しやすい医師」となれるように心がけております。気になることや、こうしたいというご希望は遠慮なくお話しください。内科、緩和ケア病棟での勤務の経験を活かし、自宅で穏やかに過ごせるよう努めて参ります。



山谷 立大
(やまや たつひろ)
R2.7～
【専門】
一般内科
【資格】
日本専門医機構救急科専門医

元々、大学の救急センターで10年近く働いておりました。2020年より縁あって常勤医としてみらい在宅の訪問診療を始めさせていただいております。在宅医療と救急医療は似ているところと、そうでないところがありますが、これまでの経験を活かしつつ皆様に教えていただきながら、自分にできる在宅医療を考えていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。



小暮 悠
(こくれ ゆう)
R3.4～
【専門】
消化器科
外科
【資格】
外科専門医
難病指定医

もっと幸せなお看取りがあっても良いのではないかと。そんな想いをきっかけに訪問診療にうつり4年、想像もしなかった困難に奮闘する日々です。(エレベーターの止まった高層マンションには参りました…)ですが、自宅での最期は驚くほど和やかなことが多く、在宅医療の遣り甲斐を実感する日々でもあります。まだまだ未熟ではありますが、これからも一生懸命に患者様に寄り添った治療を心掛けてまいります。



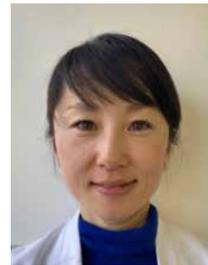
久保 博一
(くぼ ひろかず)
R3.4～
【専門】
一般内科
消化器科
外科
【資格】
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

みらい在宅クリニックの久保博一です。私は病院勤務時代には消化器外科医として内視鏡検査や消化器外科手術、抗がん剤治療に携わっておりました。令和3年4月よりみらい在宅クリニックの一員として勤務させていただいております。私自身、まだまだ在宅医療については勉強中ではありますが、病院の連携室やケアマネージャー様、訪問看護ステーション様とも密に連携をとらせていただき診療にあたることを心がけています。患者様やそのご家族のご希望に少しでも添えるよう努力いたしますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



山口 和哉
(やまぐち かずや)
R3.4～
【専門】
消化器科
外科
【資格】
日本外科学会専門医

横浜市立大学を平成22年に卒業しました山口です。卒業後は同大学にて外科学を専攻し、約10年間関連病院で研鑽を積んで参りました。配属された病院の中には大学病院のような急性期で専門性の高い病院もあれば、地域に根差した中規模な病院もありました。前者のような病院では手術や周術期の全身管理を、後者のような病院では外来管理や緩和的な対応を経験して参りました。これまで学んできたことを活かし、地域の皆様のご自宅での生活のサポートをさせていただければ幸いです。



川崎 由華
(かわさき ゆか)
R3.9～
【専門】
消化器内科
緩和医療
【資格】
日本内科学会総合内科専門医
緩和医療学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本消化管学会指導医
がん治療認定医

本院エリア担当の川崎由華と申します。福岡県出身で海が好きです。39歳の時にがんを経験し、幸い今は元気に働いています。病や死に対する価値観は人それぞれですが、闘病を通じて感じた事や得た経験を、患者様やご家族への寄り添いに活かしたいと考えています。緩和ケア認定医として、痛みや不安を和らげるだけでなく「その人らしい選択」を大切に、ご家族にも安心を届けられる医療を提供できるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



堤 壮吾
(つつみ そうご)
R4.4～
【専門】
泌尿器科
一般内科
【資格】
一般社団法人日本専門医機構認定
泌尿器科専門医

私は横浜市立大学泌尿器科出身で、がん診療を中心に幅広い経験を積んできました。現在は訪問診療医として、内科全般や緩和ケアに従事し、地域の皆様と協力しながら在宅医療に取り組んでいます。学生時代には野球部に所属し、チームワークの大切さを学びました。この経験を活かして多職種の方々と連携しながら患者様に最適なケアを提供することを心がけています。私自身も妻と二人の子供とともに地域で暮らす一員として、患者様とご家族が安心して自宅で過ごせるよう努めています。これからも地域医療に貢献できるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



葛西 祐樹
(かさい ゆうき)
R4.4～
【専門】
一般内科
消化器内科
緩和ケア
【資格】
日本内科学会内科認定医
日本消化器病学会消化器内科専門医
日本緩和医療学会緩和ケア認定医
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

私は、これまで内科医や緩和ケア医として、様々な患者様と携わってきた経験を活かし、患者様一人ひとりに寄り添い、心身のケアを大切にすることを心がけています。もし自分の家族が同じ立場になったらどうするかを考えながら、それぞれのご家庭に合った最適な治療とサポートを提供しています。病気や痛みだけでなく、生活の質を高めることにも焦点を当て、安心していただける医療を目指しています。どうぞよろしくお願ひ致します。



泉澤 祐介
(いずみさわ ゆうすけ)
R4.4～
【専門】
外科
消化器外科
【資格】
消化器がん外科治療認定医
外科専門医
消化器外科専門医

みらい在宅クリニックに勤務しております泉澤祐介と申します。病院勤務時代は消化器疾患、特に癌の診断・治療に携わってまいりました。これまでの経験を活かし、患者様の病状だけでなく、生活背景も考慮した全人的な医療を提供することを心がけております。患者様のお話を伺い、一緒に考え、悩み、寄り添える医師として努め、安心して在宅医療を受けていただける一助となれるよう、尽力いたします。



松木 裕輝
(まつき ひろき)
R4.4～
【専門】
消化器外科
肝胆膵外科
【資格】
外科専門医
消化器外科専門医
医学博士

初めまして。みらい在宅クリニックの松木と申します。主に南エリアを担当しています。これまで消化器外科専門医として、主に肝胆膵領域の悪性疾患の診療に携わってきました。2022年より訪問診療専門として、みらい在宅での勤務を開始しております。画一的な診療ではなく、患者様の症状や生活に合わせた診療を心掛け、多職種の方々と協力しながらオーダーメイドの訪問診療を目指します。よろしくお願ひいたします。



徳田 俊英
(とくだ としひで)
R4.4～
【専門】
一般内科
画像下治療
画像診断
【資格】
画像下治療専門医
放射線診断専門医

私は滋賀県出身の医師で、元々は画像下治療と画像診断という、カテテル治療や医用画像をみて病気の診断を行う専門医です。自宅でCTを撮ることはできないのですが、画像をたくさんみてきたので、診断と治療のプロセスを全ての疾患でイメージできているのが強みだと思います。人ともっと近い距離で医療を行いたいという気持ちから、在宅医療を始めてから5年が経ちました。患者様に寄り添い、総合的な医療を提供することを目指しています。

医師紹介



金井 亮憲
(かない あきのり)
R4.4～
【専門】
呼吸器内科
【資格】
日本内科学会認定内科医
日本呼吸器学会呼吸器専門医

患者様一人ひとりの想いに寄り添い、ご自宅での安心できる療養をサポートします。呼吸器疾患をはじめ、慢性疾患の管理や緩和ケアまで幅広く対応。医療だけでなく、お話をすることや気持ちに寄り添うことも大切にしています。ご本人もご家族も「ここで過ごせてよかった」と思えるように、温かく丁寧な診療を心がけています。どんな小さなことでも、気軽にご相談ください。



佐々木 雄一
(ささき ゆういち)
R4.12～
【専門】
一般内科
麻酔科
【資格】
麻酔科標榜医
日本医師会認定産業医

都内の基幹病院で麻酔科医として勤務した後、在宅医療の道へ進みました。自身の経験を活かし、「自宅で過ごしたい」と願う方が安心して暮らせるように支援することを何より大切にしています。傾聴を重視し、何でも相談できる存在としてACPを深め、時間にゆとりを持った診療を心がけています。横浜の地域医療を担う一員として、皆様と連携しながら貢献していきたいと考えています。息抜きはサウナと、生まれたばかりの娘と過ごす時間です。



鈴木 洸
(すずき こう)
R5.4～
【専門】
一般内科
消化器内科
【資格】
日本専門医機構認定内科専門医

私は2023年4月から、みらい在宅クリニック常勤医師として働いております。それまでは横浜市立大学付属病院・平塚市民病院で消化器内科医として働いておりました。また、大学病院では緩和ケアチームに所属して、緩和治療についても学んでまいりました。わからないことがありましたらできるだけわかりやすく、そして丁寧にご説明いたしますのでお気軽にお声掛けください。よろしくお願い申し上げます。



善積 哲也
(よしずみ てつや)
R5.4～
【専門】
脳神経外科
【資格】
日本脳神経外科学会専門医
日本脊椎外科学会認定医
脊椎脊髄外科専門医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医
日本認知症学会専門医
日本頭痛学会専門医
医学博士

2023年4月に入職する以前は専門分野である脳神経外科診療以外、しっかりと取り組むことはありませんでした。当院で在宅医療を行うようになり、医師として全く未熟であったことを痛感しました。医学的な知識のみならず患者様との接し方、多職種との連携、総合病院とのやり取りなど現在も毎日勉強させていただいています。これからも在宅医療が必要な患者様に少しでも役に立つように、全力で取り組んでいきたいと思っています。



大山 裕太郎
(おおやま ゆうたろう)
R5.4～
【専門】
救急科
【資格】
日本救急医学会専門医

みらい在宅クリニックの大山です。元々の専門は救急で、1年間に100回程度の当直をこなすこともありましたが、今はその経験を活かして、フットワークの軽い訪問診療医を目指しています。いろんな患者様、ご家庭、現場があるかと思えます。ただ、どんなに辛い時でも、毎回の診療で一回は笑顔になれるような、そんな診療を心掛けております。学生時代はラグビーをやっていました。(実は弟は現役のプロのラグビー選手です) どうぞよろしくお願い致します。



辻 顕介
(つじ けんすけ)
R5.4～
【専門】
一般内科
消化器科
【資格】
日本内科学会認定内科医

はじめまして。私はこれまで大学病院や市中病院で消化器内科医としてがん診療に携わってまいりましたが、より患者様に寄り添った医療を提供したいとの思いから訪問診療を始めました。住み慣れた環境で安心して過ごせるよう、患者様とご家族の思いを尊重した医療を心がけております。地域の皆様と協力しながら、最適な医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。



合田 智則
(ごうだ とものり)
R5.4～
【専門】
消化器内科
【資格】
産業医学ディプロマ

香川県出身、産業医科大学を卒業後、消化器内科医として福岡・大分・山口県で勤務して参りました。2023年4月よりみらい在宅クリニックにご縁をいただき、勤務させていただいております。訪問診療は初めてで不慣れなことも多いのですが、沖田理事長をはじめ多くの先生方・スタッフに支えていただき、充実した日々を過ごしております。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



河島 菜々子
(かわしま ななこ)
H30.3～/R6.4～復職
【専門】
消化器内科
【資格】
日本内科学会総合内科専門医

地域の在宅医療に関わる皆様には、いつも大変お世話になっております。有難うございます。私は2018年に当院に就職致しました。2021年に退職し渡伊した後、2024年に復職致しました。イタリアでは、約10か月に渡り現地の在宅緩和医療及び緩和病棟の現場を見る機会に恵まれました。学びが多くあった一方で、横浜の在宅医療が、携わる皆様の努力によっていかに充実したものになっているか、という気づきもありました。少しでも経験を活かせるように努力して参りますので、今後ともお力添えを頂けると幸いです。イタリアの医療事情のご興味がおありの方、ご旅行を検討中の方は、どうぞお気軽にお声がけください。



土屋 祐介
(つちや ゆうすけ)
R6.4～
【専門】
一般内科
消化器科
【資格】

こんにちは。おもに港南地区を中心に金沢区や保土ヶ谷区のエリアを担当しています。元々は消化器を専門に総合病院で研鑽を積みました。これまでの来院する患者さんにお会いするという医療から、私たちがご自宅に何うという正反対ともいえる医療に従事するようになり、日々患者さんやご家族、医療者の皆さんから学ぶことばかりです。患者さんやご家族に寄り添い、ケアマネージャーや看護師、薬剤師などの医療者とともに在宅医療を支えてまいります。気軽になんでもご相談下さい。宜しくお願い致します。



西川 健太
(にしかわ けんた)
R6.4～
【専門】
一般内科
泌尿器科
腎臓科
【資格】
日本専門医機構認定泌尿器科専門医

私は泌尿器科を専門としており、特に腎不全・透析・移植に関する診療を得意としています。これまでの経験を生かし、患者様一人ひとりの状態に応じた、最適な医療を提供できるように心掛けています。診療においては、患者様とご家族の思いや生活環境に寄り添い、信頼関係を築きながら丁寧な対応を大切にしています。患者様がご自宅で安心して過ごせるよう、医療面だけでなく精神的なサポートも意識して診療を行っています。今後も、地域の皆様の健康を支えるため、尽力してまいります。



山村 武史
(やまむら たけし)
R6.4～
【専門】
一般内科
【資格】
日本内科学会総合内科専門医
日本血液学会認定血液専門医
在宅褥瘡予防・管理師

大学病院の血液内科などを経て、2016年から訪問診療に従事しています。内科医ですが、訪問診療を経験する中で一念発起し、在宅褥瘡予防・管理師を取得しました。患者様やご家族様から好かれる往診医でありたいと考えています。毎日の往診では、自分の家族だったらどうするだろうかということを念頭に診療するよう心掛けております。よろしくお願い致します。



新任医師紹介

令和7年 4月入職 今年度は当院で初めて循環器内科専門医と膠原病、リウマチの専門医が常勤医師として就任します



高橋 亮吉
(たかはし りょうきち)
R7.4～

【専門】循環器内科

【資格】日本専門医機構内科専門医
日本心血管インターベンション学会治療認定医

2025年度から入職させて頂きました高橋亮吉と申します。大阪府の高校を卒業後、東北大学へ進学しまして、震災前年の2010年から約15年間、宮城県は仙台市で生活しておりました。宮城県では、東北大学病院とその関連病院で、循環器内科診療に従事しておりました。大学病院では虚血性心疾患チーム(主に心筋梗塞や狭心症、TAVIなどのカテーテル治療を担当)と重症心不全チームに所属しており、浮腫や息切れなど循環器領域の治療を得意としておりますが、今後は在宅医として幅広い疾患に対応出来るよう精進して参ります。近隣医療機関の先生方、看護師さん、コメディカルの方々と密にコミュニケーションを取りながら、疾病末期、高齢者の方々を包括的に支えられるようになることが目標です。どうぞ宜しくお願い致します。



井口 健太
(いぐち けんた)
R7.4～

【専門】消化器外科

【資格】日本外科学会外科専門医
日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員
日本ロボット外科学会専門医(国内B級)
臨床研修指導医
緩和ケア講習会終了

4月より、みらい在宅クリニックに入職いたしました。横浜市立大学を卒業後、横浜・横須賀地域の基幹病院、大学病院、がんセンターなどで主に消化器外科を専門に診療を行ってまいりました。以前に非常勤医師としてみらい在宅クリニックで往診を担当しておりましたが、ご縁を頂きこのたび常勤医として勤務することとなりました。急性期から慢性期、緩和ケアに至るまで幅広い診療経験を活かし、患者様一人おひとりに寄り添った丁寧な医療を提供できるよう努めてまいります。みらい在宅クリニックには、さまざまな背景をお持ちの患者様がいらっしゃいます。全身を総合的に診る視点を大切にしながら、最適な医療を提供できるように心がけてまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。



鮫島 譲司
(さめじま じょうじ)
R7.4～

【専門】呼吸器疾患、肺がん

【資格】日本外科学会専門医・指導医
日本呼吸器外科学会専門医・評議員
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
気管支鏡専門医
胸腔鏡安全技術認定制度・認定医

2025年4月に入職しました鮫島譲司と申します。瀬谷区三ツ境の堀病院で生まれ、つくの幼稚園、中沢小学校、駒場東邦中等学校、横浜市立大学を卒業するまで二俣川に住んでいました。横浜南共済病院や神奈川県立循環器呼吸器病センター、横浜市立大学附属市民総合医療センターに勤務していた関係で、金沢区に5年間、南区に2年間住んでいました。20年以上前になりますが、父は横浜魁生病院のホスピス病棟で看取っていただきました。母は介護福祉士・ケアマネージャーとして横浜市内の施設で以前勤務していました。私は呼吸器外科を専門とし、直近は国立がん研究センター東病院と神奈川県立がんセンターで計9年間肺がんの治療に従事していました。不慣れな部分も多々あると思いますが、その都度修正していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



田川 泰寛
(たがわ やすひろ)
R7.4～

【専門】リウマチ科
膠原病科

【資格】認定内科医
リウマチ専門医
リウマチ指導医
難病指定医
医学博士

2011年に山梨大学を卒業し、横浜市立みなと赤十字病院、東京科学大学病院(旧東京医科歯科大学病院)などでリウマチ・膠原病診療に従事してまいりました。2025年よりみらい在宅クリニックに入職いたしました。これまで付き合いの長い病気の患者様を診察することが多く、その中で患者様との対話を大切にまいりました。これからも患者様との対話を大切に、地域医療機関と連携しながら患者様に寄り添う医療を提供してまいりたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

診療実績

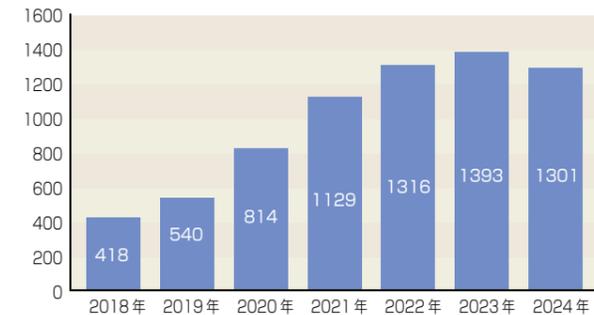
看取り患者数

| | 本院 | 港南 | 金沢 | 神奈川 | 若葉台 | 居宅 | 施設 | 総数 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|
| 2018年 | 260 | 74 | | | | 334 | 84 | 418 |
| 2019年 | 282 | 139 | 5 | | | 426 | 114 | 540 |
| 2020年 | 392 | 200 | 109 | | | 701 | 113 | 814 |
| 2021年 | 468 | 321 | 191 | | | 980 | 149 | 1129 |
| 2022年 | 488 | 340 | 248 | | | 1076 | 240 | 1316 |
| 2023年 | 519 | 344 | 238 | | | 1101 | 292 | 1393 |
| 2024年 | 427 | 321 | 233 | 13 | 9 | 1003 | 298 | 1301 |

新規患者紹介数

| | 本院 | 港南 | 金沢 | 神奈川 | 若葉台 | 総数 |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|------|
| 2018年 | 497 | 151 | | | | 648 |
| 2019年 | 640 | 282 | 18 | | | 940 |
| 2020年 | 703 | 440 | 229 | | | 1372 |
| 2021年 | 832 | 546 | 362 | | | 1740 |
| 2022年 | 953 | 648 | 515 | | | 2116 |
| 2023年 | 1105 | 727 | 547 | | | 2379 |
| 2024年 | 1065 | 738 | 540 | 51 | 19 | 2413 |

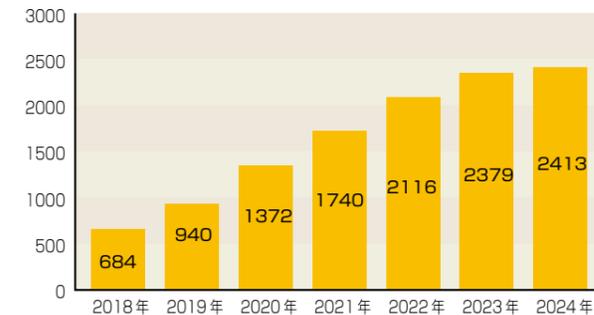
看取り患者数年間グラフ



看取り患者数 居宅・施設別 年間グラフ



新規患者紹介数 年間グラフ



退院前カンファレンス参加回数

| | 本院 | 港南 | 金沢 | 神奈川 | 若葉台 | 総数 |
|-------|----|----|----|-----|-----|-----|
| 2024年 | 86 | 27 | 44 | 8 | 1 | 166 |



新規患者様のご紹介方法

患者様の居住地に関係なく、
まずは

新患総合受付 (045-326-6977)

へお電話ください。

1. かかりつけのクリニックがある場合 (眼科・耳鼻科を除く)

原則として、かかりつけクリニックの医師による**紹介状(在宅医療への移行許可)**が必要です。

2. 病院に通院中・入院中で在宅医療を検討される場合

病院の医療相談室の看護師やケースワーカーにご相談ください。

意見書記載のみの依頼について

原則として対応しておりませんが、状況によりご相談を承ります。

問診票の記入について

当院のホームページからダウンロードし、ご記入のうえ、初診時に医師へお渡しください。

主治医の指名について

- 当院では 主治医の指名が可能です。
- 「〇〇医師以外の医師」という形での指名も承ります。
- 当院の医師は、
 - 北エリア (本院・神奈川・若葉台)
 - 南エリア (港南・金沢)
 に分かれて担当しております。
- エリアを超えての主治医の担当は原則不可です。
- 指名医師の診療枠が満枠の場合、ご希望に添えないことがありますのでご了承ください。

ご不明な点がございましたら、お気軽に

新患総合受付 045-326-6977

までお問い合わせください。

訪問エリアのご案内

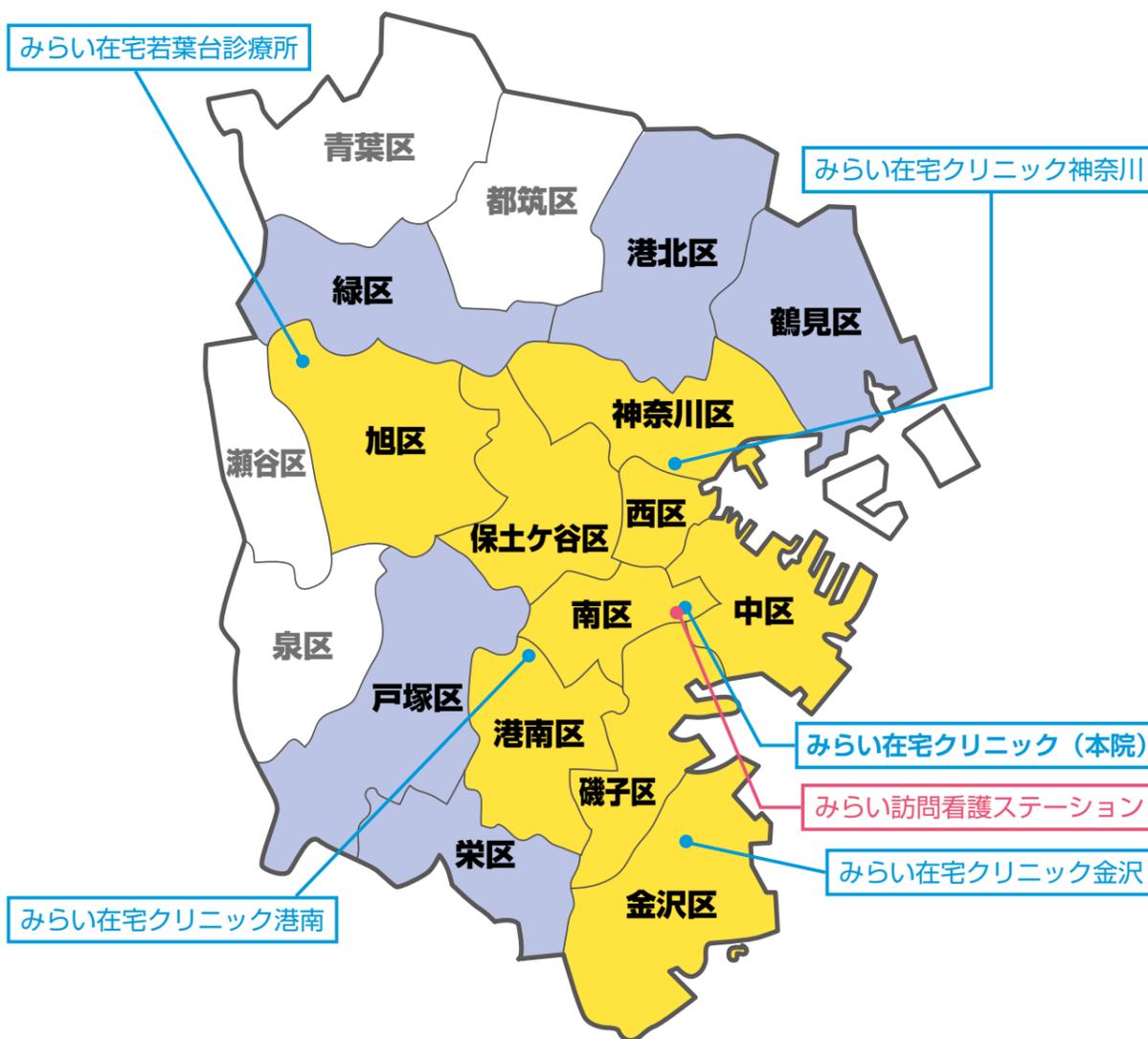
全域対象地域

南区 港南区 磯子区 中区 金沢区 西区 保土ヶ谷区 神奈川区 旭区

一部対象地域

戸塚区 栄区 港北区 鶴見区 緑区

※一部対象地域については、現在訪問エリアを拡大中でございます。
一部対象地域の訪問はご相談ください。



診療費について

必ずかかる費用

| | 1割負担の方 | 3割負担の方 |
|---------|--------------------|----------------------|
| 月ごとの管理料 | 約 4,500 円～ 5,400 円 | 約 13,500 円～ 16,200 円 |
| 定期往診料 | 約 890 円 | 約 2,670 円 |

臨時でかかる費用

| | 1割負担の方 | 3割負担の方 |
|------------|------------------|--------------------|
| 平日昼間の臨時往診料 | 約 850 円～ 1,650 円 | 約 2,550 円～ 4,950 円 |
| 夜間・休日臨時往診料 | 約 2,500 円 | 約 7,500 円 |
| 深夜臨時往診料 | 約 3,700 円 | 約 11,100 円 |

●その他、在宅酸素、在宅中心静脈栄養、在宅自己注射の管理料、採血等の検査料は別途かかります。

●介護保険の居宅療養管理指導料は別途かかります。

臨時の往診の際は交通費として 1,000 円をいただきます。

常勤・非常勤あわせて 80 名を超える医師が、大きく北南エリアに分かれて各地域を訪問しておりますが、全医師が全エリアをフォローしながら診療を行っております。



みらい在宅クリニック



本院の訪問エリアは南区、中区、磯子区の一部です。西区や神奈川区、保土ヶ谷区は神奈川分院のエリアにしましたので、本院対象エリアは狭くなりましたが、ただ医師は各分院に属しながらも、エリアを越えて全体に対応していますので、いままで通り相性がいい医師をご指名くださればと思います。

さて、長く在宅医療に携わっている医師として、社会的な様子がずいぶんかわってきたと感じます。

- ・ヘルパーさんの絶対的不足
- ・様々な介護系施設に対して、在宅医療の制度が追いついていない
- ・老老介護、独居世帯の急激な増加
- ・精神的疾患を抱えた介護者、同居者の増加

院長 沖田 将人 などがいます。どれも我々在宅医がどうすることもできない社会問題です。とくに南区というエリアは在宅医療の前に、健全な日常生活すら営めていない、医療の前の問題に直面することが増えました。

また、特別養護老人ホームやお泊りデイサービスなど、制度の問題で在宅医療が提供できない施設ですが、救急隊や病院の救急外来の先生方にまでその制度が知れ渡っておらず、対応しないのではなく、できない、という部分をご理解いただけない、お叱りをうけることもあり複雑な思いがあります。変化が多い時代、高齢化が急速に進む今日、制度がもっと時代に合ったものになるべきだと切に願います。

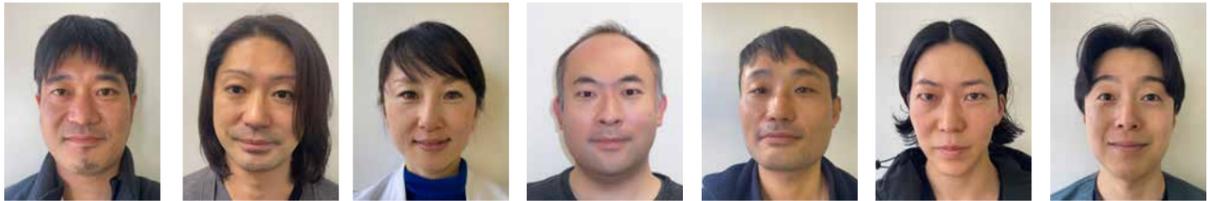
ただ、本院エリアには急性期病院は市大センター病院、みなの赤十字病院、横浜市民病院があり、急性期も高齢者医療のバックベッドにも目を向けてくださっている聖隷横浜病院や横浜中央病院、磯子中央病院、佐藤病院などがあり、いつも連携の皆様が優しく対応いただいているので、在宅医療そのものを提供するにおいては恵まれていることに感謝しかありません。

もちろん地域の看護、介護関係者のご協力にも助けられております。

在宅医療、介護で在宅医が1人でできることは小さなことであり、1人の患者様に対していろいろな職種がチームになって診ていく必要があります。今後も当院の医師教育でも、チームワークを大事にしながら、少しでもこの地域で貢献出来たらと思いますのでよろしく願います。



秋葉 涼子 佐藤 将之 林 茂也 岩淵 潔 原田 浩 鷗浦 康司 椎野 王久



山谷 立大 山口 和哉 川崎 由華 泉澤 祐介 徳田 俊英 金井 亮憲 佐々木 雄一



大山 裕太郎 河島 菜々子 西川 健太



山村 武史 高橋 亮吉 田川 泰寛



みらい在宅クリニック港南



院長 開田 脩平

港南分院は、港南区芹が谷に2018年4月開院しました。法人としては金沢分院と合わせて南エリアとして、常勤医20名体制となっています。港南分院の診療範囲は港南区全域と磯子区、栄区、戸塚区の一部となっており、栄区、戸塚区に関してはその診療範囲を少しずつ広げています。港南区内の済生会横浜市南部病院を始め、近隣の病院とも連携を行い、迅速かつ丁寧な対応が出来るように努めております。地域の訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所とは直接医師との電話連絡だけではなく、MCS(メディカルケアステーション)なども利用して日々連携をしております。

また地域の様々な研修会への参加をすることで顔の見える関係を築き、必要があれば一般市民向けの講演を行い、訪問看護ステーションなどで開催されるデスカンファレンスなどに参加させていただいています。今後もそのような要望がございましたら対応させていただきますので、いつでもお声掛けをしていただければ幸いです。



佐藤 順子



中村 洋祐



橋本 昌憲



瀬間 学



永田 亮



佐藤 晶子



小暮 悠



久保 博一



堤 壮吾



葛西 祐樹



松木 裕輝



鈴木 洸



善積 哲也



辻 顕介



合田 智則



土屋 祐介



井口 健太



鮫島 譲司



みらい在宅クリニック金沢



院長 永田 亮

金沢分院は、2019年10月に開院しました。現在は能見台のマンション群の一角、京急シティ能見台センタービル内にあり、10台以上停めることができる専用駐車場を備えています。この立地を活かして、対面でのカンファレンスなどを定期的に行っています。

担当地域は、金沢区全域と栄区、磯子区の一部です。

金沢区や栄区は横浜市の中でも高齢化率が最も高く、また近隣の横浜市立大学附属病院をはじめ、横浜南共済病院、県立循環器呼吸器病センター、横浜栄共済病院、金沢病院、金沢文庫病院、若草病院、並木リハビリテーション病院などから在宅医療へ紹介いただくことが増えてきており、患者数は増加しています。

横浜南共済病院緩和ケア病棟（金沢区）とも連携を深めるため、各種研修会への参加を行うなど顔の見える関係を目指して引き続き連携を強化してまいります。

また、最近では小児患者の紹介も増えており、横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち（金沢区）の勉強会に参加するなどし、小児在宅医療にも積極的に取り組んでまいります。



みらい在宅クリニック神奈川



院長 林 茂也

2024年4月より神奈川県三ツ沢下町に「みらい在宅クリニック神奈川院」を開院いたしました。現在、神奈川院では神奈川県を中心に西区、港北区一部、鶴見区一部を訪問エリアとさせていただいております。現在3名医師体制でスタートしておりますが、在宅療養支援診療所における24時間のオンコール体制も法人内の他のクリニックと連携しており、夜間や休日含め過度の負担がないようにしておりますので、長時間労働により診療自体がおろそかになるようなことは決してないようにしております。

法人全体では昨年1000名超の在宅・施設でのお看取りを致しまして、麻薬持続皮下注射の導入など、緩和病棟にいるのと遜色ない医療の提供が出来るように研鑽しております。在宅看取りも増えていますが、納得の看取りを増やし、偶発の看取りに適切に対応し、葛藤の看取りを減らすことを目標に、神奈川院でも日々努力を積み重ねていきたいと思っております。

また在宅医療では、ただ医療行為を行うということでは成り立たない部分が多く、様々な職種の方と連携し、お互いに協力し合う体制を作ることが大事であると日々感じています。そのため、当院の電子カルテを遠隔で見られるようにするシステムや、MCSを使った相互連携などの導入を進めております。費用負担などはありませんので、連携の一つとして皆様と共有できればと思いますので、ぜひ興味がある方はお気軽に連絡頂ければと思います。

地域から選ばれる、信頼されるクリニックになれるように、職員一丸となって頑張っております。今後ともご指導・ご鞭撻のほどお願い出来ればと思います。



鵜浦 康司

山口 和哉



みらい在宅若葉台診療所



院長 加行 尚

令和6年3月1日より医療法人みらいの傘下に入りました。

私は昭和14年7月6日の生まれで、昭和45年横浜市大卒（入学40人、卒業45人）（出戻り）です。当時研修医制度は有りましたが、文部科学省は研修内容を全く制定していないため、私達45年卒生は、独自に私たちの研修内容を重点研修方式として制定し、それを教授会へ提出し、認められました。私は麻酔科・産科・小児科・外科・心臓外科・整形外科・耳鼻咽喉科を回り、その後脳神経外科へ入局。その間“総合診療”の必要性に気付き、昭和54年4月に「若葉台診療所」を開設。その後、日本プライマリ・ケア学会へ入会。そして私は評議員・理事・副会長まで務めました。その後日本プライマリ・ケア学会は日本家庭医療学会・日本病院総合診療医学会と合併し、日本プライマリ・ケア連合学会と改名しました。

日本プライマリ・ケア連合学会の基本理念は、① Accessibility(近接性)、② Comprehensive(包括性)、③ Coordination(協調性)、④ Continuity(継続性)、⑤ Accountability(責任性)以上の5つです。正しくみらい在宅クリニックの目指すところです。ただここには在宅診療だけでなく、外来診療も含まれます。

ここ“若葉台”は、疫学研究で有名な福岡県の“久山町”と同じような“地域”として全国から注目されており、これまでに幾つかの学会論文もあります。

地域医療に目覚め、希望と情熱を持った先生方の、ここ“若葉台”での外来から在宅への切れ目ない診療の継続を期待しています。

みらい在宅若葉台診療所 加行 尚

訪問専門



河島 菜々子



沖田理事長と加行院長を繋いでくださった、横浜市大OBの遠山先生（右端）

みらい訪問看護ステーション



管理者 高橋 邦光

みらい訪問看護ステーションでは、温かみのある寄り添ったケアを大切に地域の皆様の健康と安心を支えます。経験豊富な看護師が、ご利用者様のニーズに合わせた看護の提供を行います。病気や障がいを抱える方が、住み慣れた環境で安心安全に生活ができるように医療的なケアから日常生活の支援まで幅広くお手伝いさせていただきます。また、ご家族様のご負担を軽減できるように相談には最善のアドバイスと、心のこもったコミュニケーションを大切に致します。24時間365日対応の体制で、緊急時もお対応させていただきます。地域の医療機関や介護サービスとも連携しながら、包括的なケアの実現を目指します。ケアの提供を通して笑顔と信頼を届け、皆様の暮らしに寄り添います。まずはお気軽にご相談ください。

24時間対応

訪問リハビリ対応

訪問看護 / 介護予防訪問看護

ターミナルケア対応

精神科看護対応

介護保険・医療保険・公費対応

部門紹介

新規患者受付

日頃より多くのご紹介をいただきありがとうございます。ご相談やご依頼をいただきながら、日々学ばせていただく機会も多く、改めて間近で介護や看護に携わり在宅支援に取り組まれている皆様へ尊敬の念が堪えません。

訪問診療をお考えの方や迷っている方など、安心してご相談していただけるように誠意を込めて対応に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

看護材料部

私たちは看護師1名・事務2名のメンバーで業務を行っております。主な業務としては、本院の医薬品、医療物品の調達、管理・払い出しを行っております。また、非常勤医師のサポート業務も行っており、スケジュール管理、物品の用意や書類のサポートなども担当しております。また、MCSの窓口や平日日中のオンコールのサポートなど、医師・患者様・医療関係者など幅広く多くの方々と接する機会があります。これからもスムーズで質の高い診療を提供できるようにサポートしていきます。

サポート課

事務員総勢12名が各分院（本院・港南・金沢・神奈川・若葉台）に配属されております。業務内容は、主に各分院へのお電話や来院された方への対応、FAXや郵便物の処理等の窓口業務を行っております。丁寧かつ迅速な対応を目指して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。分院間での連携もごございますので、お気軽にお問い合わせいただければと思います。

法人運営

私たち法人運営部門は南区にあります本院にて業務にあたり、全5院を担当しております。医師・看護師・事務業務以外の人事や労務などを中心に法人が円滑に運営できるように、様々な業務に取り組んでおります。普段は裏方として業務を行っておりますが、会計や経理業務、指定難病の取り扱いなどでは直接患者様宅に訪問させていただくこともございます。また、本院が取り扱う電子カルテ「モバカル」においては、診療に関わる各事業所様の事務所にもお伺いする機会がございます。法人を裏側から支える立場ではありますが、時に患者様や連携する事業所様とも接することで、私たちだけではなく様々な方々の支えがあって今の医療法人みらいがあると感じております。これからも皆様に必要とされる医療を提供できるように、微力ながら精進してまいります。よろしくお願い致します。

指令当直

みらい在宅クリニックでは横浜市立大学の学生が事務受付をお手伝いさせていただいております。指令当直を学生が担うようになってから今年度で6年目になります。土日は7時から22時まで、平日は18時から22時まで、患者様からの電話を受け、担当エリアの医師に繋ぐ業務を行っております。病棟実習とは異なる形で患者様と接する機会が多く、大変勉強になっております。学生が担当しているため至らない点もあるかと思いますが、先生方や事務の方々、そしてメディカルスタッフの皆様が温かくサポートしてくださるおかげで、業務が成り立っています。いつもご指導ご支援を賜り、誠にありがとうございます。今後も精一杯努力し、皆様のご期待に応えられるように努めてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



講演会

| 開催日 | 演題 | 主催 | 講師 |
|----------------|---|----------------------------------|----------------------|
| 2024年 5月25日 | 小児緩和ケア ネットワークカンファレンス in YOKOHAMA 事例検討会 | NPO法人 横浜こども ホスピスプロジェクト | 永田 亮医師 |
| 2024年 5月26日 | 第17回日本緩和医療学会 学会委員会企画シンポジウム「在宅緩和ケア 対応薬局の果たすべき役割」「これからの在宅緩和ケア対応薬局に求められること～在宅医の立場から～」 | 日本緩和医療学会 | 開田 脩平医師 |
| 2024年 5月29日 | 医療コミュニケーション論 「在宅医療と医療コミュニケーション」 | 横浜市立大学医学部医学科 | 開田 脩平医師 |
| 2024年 6月9日 | 周辺症状のコントロール不能な 認知症患者の透析見合わせに対する、 在宅チームと家族の検討プロセス | 第15回日本プライマリ・ ケア連合学会学術大会 | 佐藤 順子医師 |
| 2024年 6月15日 | 横須賀市薬剤師会 WEB 講演会 「在宅での水分管理～在宅医の立場 から薬剤師に求めること～」 | 横須賀市薬剤師会・ 株式会社大塚製薬工場 | 開田 脩平医師 |
| 2024年 6月15日 | 第29回日本緩和医療学会学術大会 交流集会 「地域における小児緩和 ケアの今と未来を話し合おう！」 | 日本緩和医療学会学術大会 | 永田 亮医師 |
| 2024年 6月20日 | 令和6年度 在宅医療トレーニングセンター研修会 「脱水症と熱中症の知識と対策」 | 公益社団法人 神奈川県医師会 在宅医療トレーニングセンター | 開田 脩平医師 |
| 2024年 6月27日 | 在宅医の立場からみた災害支援 | 南区在宅療養 支援ネットワーク | 開田 脩平医師 |
| 2024年 7月4日 | 令和6年度 在宅医療トレーニングセンター研修会 「呼吸器疾患の緩和ケア」 | 公益社団法人 神奈川県医師会 在宅医療トレーニングセンター | 鶴浦 康司医師 |
| 2024年 7月11日 | 「在宅医療を可能にするサービス ～訪問診療について知ろう！～」 | 日野南地域ケアプラザ | 開田 脩平医師 堤 壮吾医師 |
| 2024年 7月21日 | 三浦半島地域緩和ケア研修会 | 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 | 永田 亮医師 (ファシリテーター) |
| 2024年 7月21日 | 第6回日本在宅医療連合学会大会 特別企画2「患者が“命を終えたい” と言ったとき」 | 日本在宅医療連合学会 | 沖田 将人医師 |
| 2024年 7月21日 | 第6回日本在宅医療連合学会大会 指導医大会「在宅医療研修プログラムに 人を集めるコツとその運営について」 | 日本在宅医療連合学会 | 開田 脩平医師 (座長) |
| 2024年 7月25日 | 港南区薬剤師会オンライン講演会 「在宅での水分管理～在宅医の立場 から薬剤師に求めること～」 | 港南区薬剤師会・ 株式会社大塚製薬工場 | 開田 脩平医師 |
| 2024年 7月26日 | 在宅療養者を支援する在宅医の役割 | 公益社団法人 神奈川県看護協会 | 徳田 俊英医師 |



| 開催日 | 演題 | 主催 | 講師 |
|-------------|---|-------------------------------|-----------------------|
| 2024年8月11日 | 脱水症と熱中症について | 港南区 少年野球チーム | 開田 脩平医師 |
| 2024年9月5日 | 令和6年度在宅医療トレーニングセンター研修会「がん患者の在宅での看取り」 | 公益社団法人 神奈川県医師会 在宅医療トレーニングセンター | 開田 脩平医師 |
| 2024年9月19日 | 「訪問診療を知ろう！～人生会議も含めて～」 「在宅医療を可能にするサービス～訪問診療について知ろう！」 | 野庭団地シルバークラブ連合会・オールのば友愛委員会 | 開田 脩平医師 堤 壮吾医師 |
| 2024年9月21日 | 横浜市立市民病院 緩和ケア研修会 | 横浜市立市民病院 | 永田 亮医師 (講師・ファシリテーター) |
| 2024年10月12日 | 令和6年度港南区医師会訪問看護・居宅介護支援ステーション研修会「社会をつなげる、ちいきづくりを考える～港南メディカルフェスティバル2024のスタートから今後について～」 | 港南区医師会訪問看護・居宅介護支援ステーション | 開田 脩平医師 |
| 2024年10月17日 | 令和6年度在宅医療トレーニングセンター研修会「非がん患者の在宅での看取り～心不全、慢性腎臓病患者について～」 | 公益社団法人 神奈川県医師会 在宅医療トレーニングセンター | 開田 脩平医師 |
| 2024年11月13日 | 第3回みなと医療連携会「在宅医療での様々なクレーム対応」 | みなと赤十字病院 | 沖田 将人医師 |
| 2024年11月16日 | 港南区防災訓練「能登半島地震の災害支援を経験して～様々な支援から見えてきたこと～」 | 港南区医師会 | 開田 脩平医師 |
| 2024年11月25日 | 終末期における在宅医療 | 神奈川県立保健福祉大学 | 鈴木 洸医師 |
| 2024年11月30日 | けいゆう病院緩和ケア研修会 | 一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 | 川崎 由華医師 (講師・ファシリテーター) |
| 2024年12月3日 | 令和6年度在宅医療トレーニングセンター研修会「能登震災支援を経験して、在宅医療に携わる人に伝えたいこと～在宅医、避難所コーディネータの視点から～」 | 公益社団法人 神奈川県医師会 在宅医療トレーニングセンター | 開田 脩平医師 |
| 2024年12月8日 | 医療×まちづくり～いのちとポジティブヘルスを考える～ | 地域スナック Meets (神奈川区) | 開田 脩平医師 |
| 2024年12月16日 | 終末医療特論～まとめ～ | 神奈川県立保健福祉大学 | 開田 脩平医師 |
| 2025年1月11日 | 磯子区地域看護連絡会「訪問診療医の自然な看取りについて」 | 磯子区 訪問看護ステーション連絡会 | 沖田 将人医師 |
| 2025年1月26日 | 緩和ケア研修会 | 横浜市立大学附属 市民総合医療センター | 開田 脩平医師 (講師・ファシリテーター) |
| 2025年1月30日 | からだのしくみといのちについて | 港南区 保育園 | 開田 脩平医師 |
| 2025年2月3日 | いのちの授業 | 港南区 小学校 | 開田 脩平医師 |
| 2025年2月15日 | 在宅ケア推進課主催 令和6年度訪問看護師・リハ職合同研「在宅での終末期ケアと看取り」 | 横浜市福祉サービス協会 | 開田 脩平医師 |
| 2025年2月20日 | 2024年度第4回薬学英語5「在宅医療について」 | 横浜薬科大学 | 開田 脩平医師 |
| 2025年2月20日 | 小児緩和ケアネットワークカンファレンス in YOKOHAMA「最期まで思春期の子どもが希望する過ごし方や生活を叶えるために、どのような支援や連携/協働ができるのか～在宅医の視点から～」 | NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト | 開田 脩平医師 |
| 2025年3月15日 | 生活介護事業所 朋第二「喉頭気管分離術後の呼吸管理について」 | 社会福祉法人 訪問の家 | 開田 脩平医師 |

| | |
|-----|---|
| 開催日 | 2024年7月30日 |
| 演題 | 「イタリアで見た在宅緩和医療」 「どうする嚔下障害～誤嚥性肺炎の対応は抗菌薬だけではない～」 |
| 主催 | 医療法人みらい |
| 講師 | 河島 菜々子医師 西山 耕一郎先生 (西山耳鼻咽喉科医院院長) |

院外活動

| 活動期間 | 活動内容 | 活動先 | 医師 |
|-----------------|---------------------------------|--------|---------|
| 2024年1月28～2月2日 | 勝山オレンジクリニックにて診療支援 (能登半島地震の後方支援) | 福井県勝山市 | 開田 脩平医師 |
| 2024年3月8日～3月15日 | 福祉避難所での支援活動 (能登半島地震の直接支援) | 石川県輪島市 | 開田 脩平医師 |
| 2024年6月6日～6月9日 | 病院視察 | カンボジア | 開田 脩平医師 |

カンボジア病院視察



被災地支援





○新たに在宅医療問診票を作成しました。

(患者用 ACP)

在宅医療問診票

これからご自宅で過ごすにあたって、現在のあなたのお気持ちや考えを教えてください。
考えは変わっていくものですので、今のお気持ちで構いません。
踏み込んだ質問もありますので、答えづらい場合は空欄でも構いません。

1) ご自身の病状をどれくらい理解できていると思いますか。
全くしていない あまりしていない 少ししている している とてもしている

2) 病院の説明で分からなかったこと、聞いてみたいことがあれば教えてください。

3) 今のお気持ちに一番近いもの一つを選んでください。
なにかの間違ひではないか、今の状況が信じられない
なぜ自分がこんな目に合わなければいけないのか、納得がいかない
奇跡でも起きてなんとか免れることができないか
もうどうしようもないという諦め、絶望
いつかは終わりがくるもの、今は日々を穏やかに過ごしたい

4) 病状についてどういう説明をうけたいですか(複数選択可)
聞きたくない 出来るだけ聞きたくない 全て聞きたい
おおまかに聞きたい なるべく細かく聞きたい
早いうちに聞きたい ぎりぎりまで聞きたくない
一人で聞きたい 家族と一緒に聞きたい 家族にだけ話してほしい
すべて医師の判断に任せる

5) ご本人にお聞きします。これからの生活を、どこで過ごしたいですか。
慣れ親しんだ自宅ですと過ごしたい
家族に迷惑をかけたくないで助けてくれたら病院や施設、ホスピスに入ろうと思っている
将来は医師や看護師のいる病院や施設、ホスピスで過ごすのが安心
なるべく早く医師や看護師のいる病院や施設、ホスピスに入りたい

※問診票は、みらい在宅クリニックのホームページからダウンロードしていただきご使用ください

(患者用 ACP)

6) ご家族にお聞きします。これからの生活を、どこで過ごしてほしいですか
慣れ親しんだ自宅ですと過ごしてほしい、病院や施設、ホスピスは考えていない
出来る限り自宅が良いが、介護の状況によっては病院や施設、ホスピスも考える
将来は医師や看護師のいる病院や施設、ホスピスで過ごすのが安心
なるべく早く医師や看護師のいる病院や施設、ホスピスに入るのが良い

7) これからの在宅医療でしてほしいことを教えてください。

8) これからの在宅医療でしてほしくないこと・絶対にイヤなことがあれば教えてください。

患者名 _____
 この書面に答えた人 _____
 この書面に記入した人 _____
 確認した医師 _____
 初回記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

患者様・ご家族様・医療者・介護職がより一体となり、在宅医療を提供できるように導入致しました。
 「患者様・ご家族様に無理のない範囲でご記入いただき、初診時に医師へお渡しください」

- 4月より循環器内科を専門とする高橋医師が入職致しました。これから在宅医療でも迎える心不全パンデミックに、さらに対応できるように体制を整えてまいります。
- 2024年 4月に開院しました「みらい在宅クリニック神奈川」の訪問エリアをさらに拡充させていただきます。

「事業所案内」掲載のお知らせ

おかげさまで、2024年度より医療法人みらいの年報を作成することが出来ました。
 2024年度版は創刊号のため、当法人の紹介を中心に作成させていただきました。次号以降は、地域の事業所の案内や取り組み、在宅医療が抱える問題などもお伝えしていきたいと考えております。
 医療法人みらいの年報に事業所案内を掲載ご希望の方はご連絡ください。

※掲載費無料
 応募多数となりました際には、途中で応募を締め切りとさせていただきます。予めご了承ください。

| | | | |
|---|-------------------------|-----------------------------|----------------|
| ○○訪問看護ステーション ○○区○○町 045-○○○-○○○○○ | ○○薬局 ○○区○○町 薬剤師募集 | ○○介護事業所 ○○区○○町 スタッフ募集 | ○○病院 ○○区○○町 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

事業所広告の掲載にご興味のある方は下記までご連絡ください。
 校正・掲載内容などはお申し込み後、追ってご連絡致します。

お問い合わせ info@mirai.biz

医療法人みらい 年報作成担当





医療法人みらい

みらい在宅クリニック

機能強化型

在宅療養支援診療所

在宅緩和ケア充実診療所



みらい在宅クリニック

〒 232-0024
横浜市南区浦舟町 2-22 ベシシティコート横浜 102 号室
TEL : 045-326-6992 FAX : 045-326-6993



みらい在宅クリニック神奈川

〒 221-0852
横浜市神奈川区三ツ沢下町 33-21
TEL : 045-326-6604 FAX : 045-326-6614



みらい在宅クリニック港南

〒 233-0006
横浜市港南区芹が谷 4-23-17
TEL : 045-392-6883 FAX : 045-392-6884



みらい在宅若葉台診療所

〒 241-0801
横浜市旭区若葉台 1-3-115
TEL : 045-921-1300 FAX : 045-921-3181
訪問診療専用番号)
TEL : 045-744-6788 FAX : 045-620-2056



みらい在宅クリニック金沢

〒 236-0057
横浜市金沢区能見台 4-4-22 横浜京急シティ能見台センタービル 2 階
TEL : 045-326-6801 FAX : 045-326-6802



みらい訪問看護ステーション

〒 232-0022
横浜市南区高根町 3-17-28 マークス横浜阪東橋 203 号室
TEL : 045-260-0730 FAX : 045-260-0731

新患総合受付ダイヤル

TEL 045-326-6977 FAX 045-326-6993

URL <https://mirai.biz>

